令和7年度 いじめ対策総点検について（報告）

新潟県立三条高等学校では、新潟県教育庁生徒指導課の笠原副参事様、中村指導主事様をお迎えして、下記のようにいじめ対応の現状についての指導、および組織体制の見直しについての指導を行っていただきました。いじめ対策の組織体制づくりと組織力向上を図ることがねらいです。

記

- 1 日 時 令和7年8月25日（月）15:00～16:30
- 2 内 容 書類点検と協議、グループワーク研修
- 3 指導内容 いじめの未然防止に向けての取組の改善
いじめアンケートの実施方法について
いじめ事案発生時の初期対応について 等
- 4 生徒指導課からの指導・助言
 - ・校内の連絡、報告体制が組織的に対応できている。
 - ・いじめ事案発生時の初期対応、生徒・保護者から訴えがあった場合の迅速な対応が重要である。
 - ・教員による日常的な目配り、面談の実施の効果が現れている。
 - ・情報モラル研修も職員研修に組み込むことで、教員も新しい情報を吸収する方が良い。
 - ・いじめアンケートについて、丁寧な対応は適切である。
 - ・会議録だけでなく、聴き取りメモもそのまま保存しておく方が良い。
 - ・内容によっては、警察等外部機関との連携も必要となる。 等
- 5 参加したPTA役員の方からのご意見
 - ・学校だけでは対応しきれない事案があることを知り、事前に保護者に学校でできることとできないことを伝えておくことが重要と感じた。
 - ・学校が警察と連携することについて、事前に保護者に周知しておくことで安心できる。
- 6 今後の取組

今回のいじめ対策総点検での生徒指導課からの指導・助言を全職員で共有して、今後もいじめを許さない、見逃さない学校づくりのため、組織的に対応してまいります。